

経営理念

国際的視野に立ち、活力に溢れ、信頼される企業体質をもとに、魅力ある製品を提供することによって社会に貢献する。

1. 研究と創造につとめ、常に時流に先んずる。
2. 相互の信頼と理解のもとに、一致協力する。
3. 責任ある判断と行動のもとに、常に最善を尽くす。

CSR 基本理念

健全な企業活動を通じ、社会・地球の持続可能な発展への貢献をはかる。

CSR長期ビジョン

お客様はもとより、全てのステークホルダーから厚い信頼と満足を得られている。

社員はオープン&フェアでチャレンジ精神あふれる企業風土を育んでいる。

1S文化

存在価値ある企業として
永続的に存続するために、
3つの“S”を第一にする。

「正直:Shojiki」が一番

「清掃:Seiso」第一

「安全:Safety」第一



編集方針

「愛知製鋼レポート2016」は、愛知製鋼およびアイチグループの2015年度の取り組みについて、多くのステークホルダーからのご理解をいただくため、具体例を交えて開示するとともに、目標が未達成だった項目については、その要因と今後の対策をできる限り掲載するものです。

今年度は、昨年度より取り組んでおりました「アイチグループにとっての重要課題」の特定に基づき(本誌P11-16)、活動報告のタイトルや内容について、それに準じた内容にリニューアルをはかりました。また2016年1月8日に当社知多工場にて発生した事故についてのご報告を掲載しております(本誌 P7-8)。

誌面づくりに関しては、従来と同じくユニバーサルデザイン*1に配慮したUDフォント*2を採用するほか、色使いや掲載ボリューム、文字サイズなどに配慮し、より読みやすいものとなるよう制作しました。

※1 年齢・性別や障がいに関係なく、あらゆる人が商品・サービス・住居・施設を快適に利用できるように配慮されたデザイン。

※2 「ユニバーサルデザイン」のコンセプトに基づいた文字デザイン。

対象読者

「本報告書は、お客様、お取引先様、株主・投資家の皆様、そして社員・関係会社の皆様を主な読者として想定しています。

期間・範囲

本報告書は、基本的に2015年度(2015年4月～2016年3月)におけるアイチグループの活動を対象としておりますが、必要に応じて一部対象期間外の内容も紹介しています。

報告メディアについて

冊子とWEBそれぞれメディアの特性を活かしたレポートングを行っています。冊子版では重要性の高い、または社会からの関心の高い項目に絞って、読みやすくかつ分かりやすく紹介しています。またWEB版ではCSRなどの取り組み全体を網羅的に掲載しています。



参考にしたガイドライン

GRIサステナビリティレポートング ガイドライン「第4版」
ISO26000(組織の社会的責任)